

きぼう



基本理念 希望のある医療



「第2回高砂市民病院健康まつり」を開催しました

皆さまのご賛同とご協賛により、昨年10月31日(土)に「第2回高砂市民病院健康まつり」を開催いたしました。

新型インフルエンザの影響を心配しましたが、第1回に引き続き第2回も多くの方々の参加をいただき、盛大に開催することができました。

「もっと市民病院を知ってもらいたい」という思いが届いたものと感謝しております。





2月から形成外科医師が増員しました！



は せ がわ や す こ

長谷川 泰子 です。

は じめまして

せ けんの皆さまの希望となる高砂市民病院になるよう

が いらいもさせていただきます

わ を尊び互いに協力しチーム医療を中心とした医療を行うよう努力します



さらに形成外科が拡充します！



平成18年に形成外科が開設されて、今年4月で4年が経過します。

2月からは常勤医師が1名増員され、形成外科医師3名による診療体制となります。それに伴い、患者さまの利便性にお応えするべく、手術日と外来診察枠を拡大いたします。今後は木曜日の外来診察も可能となり、平日の休診日が事実上なくなります。また金曜日の午後にも外来診察を開始します。

当院形成外科の特徴として、「皮膚外科」と「創傷外科」に力を注いでおりますが、その他「美容領域」「先天異常」などの治療にも取り組んでいます。

最近の傾向としては、重症かつ難治性「足潰瘍」の患者さまの紹介受診が増加しております。当科では、専門の靴装具士と連携して、オーダーメイドの補正靴を作成

することで、足潰瘍の再発・予防にも努めています。

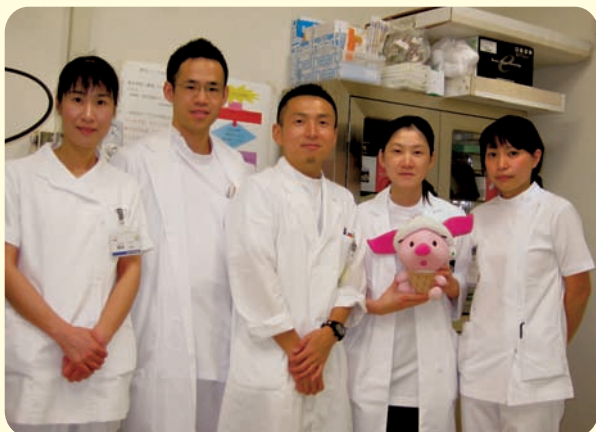
H21年1～12月の手術件数(手術室利用)は582件で、そのうち「皮膚腫瘍(良性・悪性)切除術」と「傷跡修正手術」が約65%を占めており、残りを「顔面骨骨折」「眼瞼下垂症」「熱傷・難治性潰瘍」などの手術が占めています。また外来診察室では、顔面・手指外傷などの救急処置、レーザー治療も数多く行っています。

形成外科は様々な疾患を幅広く取り扱う診療科です。何か気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

形成外科科長 野々村秀明



難治性潰瘍の処置



形成外科スタッフ

こんにちは！ 5階東病棟です



5階東病棟は、心臓・腎臓・消化器疾患の患者さまが入院されています。一般病床以外に、CCUという集中治療室があり重症の患者さまが緊急入院されることが多い病棟です。

心臓の疾患では、心臓カテーテルの検査・治療やペースメーカーの埋め込みなど、医師・放射線科・検査科等と連携し特殊な治療を行っています。最近では90歳を超える患者さまもペースメーカーを埋め込みされ、お元気に退院されました。腎臓の疾患では、透析に必要なシャント手術から透析を開始される方への説明を、透析室と協力して行っており、他院または当院で安心して透析が続けられるように看護師22名とケアアシスタント2名が全力でガンバっています！

「元気・本気・やる気・根気・循環器」をモットーにしている循環器科部長の池田医師とともに患者さまのハッピーライフを応援いたします。



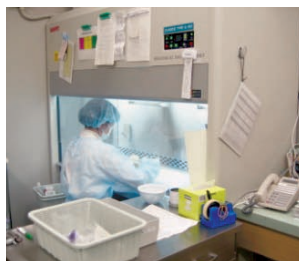
薬剤師の仕事って？



病棟におけるミキシング

平成17年から院外処方箋が出されるようになって今年4月で5年になります。

薬剤師の仕事はめまぐるしく変化し、服薬指導や日常業務を通して、薬剤師を病棟で見かけることが多くなったと思いませんか！



特殊薬剤ミキシング

最近の薬剤師の仕事を紹介させていただきます。入院患者さまの飲み薬、外用薬、注射薬を調剤することはもちろんのこと、入院時に持ち込まれた薬のリスト作成や、錠剤が飲みにくい場合は錠剤を粉砕したり、自己管理が困難な患者さまには1包化するなど個々の要望に応じています。

無菌での作業が必要な特殊な注射薬は薬局で調整したり、無菌の必要でない注射薬を病棟においてミキシングしたりもします。商品化されていない薬品の製剤、今では美白の軟膏も多く作っています。

また、院外調剤薬局からの問い合わせにも対応しています。

もっとも時間を費やしているのが入院患者さまのベッドサイドでの服薬指導です。薬の説明はもちろんですが、注意を必要とする薬の確認、副作用、相互作用に気を配り、患者さまの要望にも応えられるように努力しています。薬の安全な使用、管理などにこれからも力を注いでいきます。



服薬指導



持ち込み確認



注射薬セット



薬局スタッフ



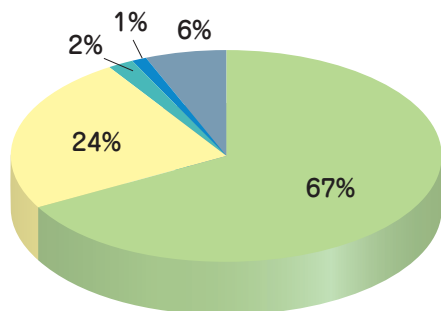
満足度調査結果のご報告



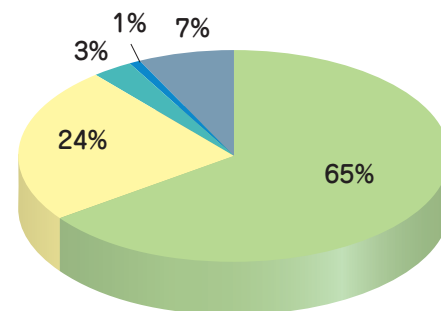
平成21年11月に患者さま満足度調査を実施しました。ご協力いただきましてありがとうございました。結果を真摯に受け止め、よりよい病院運営のために、より一層努力してまいります。



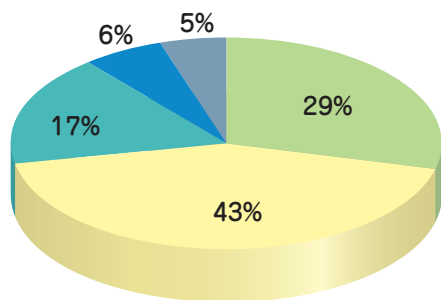
院内全体の印象は？



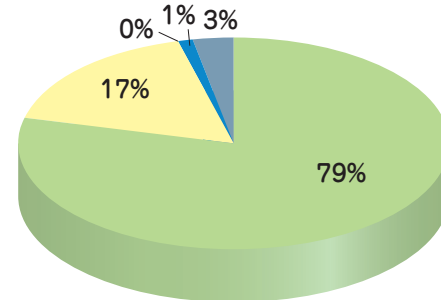
職員の説明は？



診察の済むまでの時間は？



職員のあいさつは？



接遇及び広報広聴委員会 接遇チーム

出前講座のお知らせ

平成22年度より市民の皆さまのご要望に応じて職員が出向き、説明させていただく「高砂市まちづくり出前講座」を下記のとおり実施します。

申し込み方法など詳しいことは高砂市ホームページ「高砂市まちづくり出前講座」をご覧ください。

- テーマ** 「本当に怖い生活習慣病」
- 内容** 生活習慣病をわかりやすく説明します。予防・対策を医療スタッフと共に学びましょう。
- 時間** 2時間程度（平日の午後1時30分～午後5時の間）



病院ボランティア募集中！

車椅子などの介助、外来・入院案内、清拭タオルの作成、縫製作業、グリーンボランティアなどの活動をしていただける病院ボランティアを募集しています。

詳しくは、病院ボランティア窓口までご連絡ください。

<編集・発行>

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585

兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981（代表）

Mail tact5510@city.takasago.hyogo.jp